



絶滅危惧種ゴマシジミの保護

私たちチームは、この活動を始めて7年目です。
 雨の多い年、気温が上がらず花の咲く時期が遅い年など、
 様々に変化する自然環境とそれから受ける生態系にどのよ
 うな変化が起きるのか観察してきました。
 これらを記録に残し自然環境保護の重要性を次世代につ
 ながけていければと更なる活動の充実を図ります。



主な私たちの活動を紹介します

ゴマシジミって何?

シジミチョウ科の草原に住む蝶で環境省のレッドリストの「絶滅危惧種 I A類」に指定されている。

現在県内では松本市奈川地区と長野市浅川地区にだけに生息し近い将来に絶滅する危険性が極めて高いため両地域とも保護活動に取り組んでいる。

蝶の大きさは開張40mmほどで薄黒い羽の表面には青い鱗粉がキラキラと輝いている。羽の白っぽい裏面には名前の通り黒のゴマ模様が点々とみられる。

生態系は食草のワレモコウとクシケ蟻とのトライアングルの関係にあり、非常に興味深い。

成虫はワレモコウの花に産卵し、そこで孵化した幼虫が成長して地面に降り、クシケ蟻と出会うと（ほかの蟻はダメ）幼虫は蟻の巣に運ばれ冬を過ごす。

幼虫は蟻の卵か蟻の幼虫を食べ成長、蟻の幼虫の出す体汁を求めて過ごしていると思われる。やがて暖かくなると幼虫は蟻の巣を離れ、朽ちた木などの下でサナギとなり7～8月に成虫となる。丁度その頃がワレモコウの花の咲く時期にあたる。



注：浅川地区生息地に大阪公立大学 上田准教授の研究室でクシケ蟻調査に入るも、いまだ蟻の発見に至らず。



保護活動 1) 生息地域の整備「林の間伐、草原の草刈り」

※ 他の草との関連性の調査の為一部の草を残す刈り方

保護活動 2) 食草「ワレモコウ」の植栽

※ 生息地で収集した種子を育苗 …………… 浅川小学校 4年生 (46人)

※ 現地植栽 …………… 関係者による移植作業





保護活動3) 「マニアによる密猟、乱獲防止、注意喚起」



- ※ 蝶の発生時期から産卵終了時期までのパトロール。(2人1組・延べ21名)
- ※ マニアによる密猟・乱獲防止と注意喚起看板設置。
- ※ 防犯カメラの設置。
- ※ 「がんばれ! ゴマシジミ」物語の紙芝居上演による勉強会と現地での説明会



密猟者は5年以下の懲役又は500万円以下の罰金に!



浅川地域あけてのゴマシジミの保護育成活動



食草のワレモコウの苗を植え替え



蝶が生息する長野市霊園現地見学



「にこにこ一座」が上演



北部中美術部が制作



ひかり幼稚園で上演

**ゴマシジミは環境省のレッドリスト
絶滅危惧種 1Aに指定されていて
絶滅寸前の貴重な蝶です!**



ゴマシジミの雌蝶



ワレモコウの花に産卵



ワレモコウを食べて育つ幼虫



天敵のウモに捕まる!

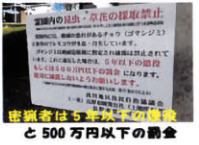
ゴマシジミの最大の天敵は密猟者です



ゴマシジミ保護育成の先進地・松本森川視察



長野市霊園の生息地ロープや看板を設置



密猟者は5年以下の懲役と500万円以下の罰金



ゴマシジミの生息地をパトロール



青い鱗粉が目立つ翅を広げたゴマシジミ

**長野市浅川地区住民自治協議会
まちづくり委員会・ゴマシジミ保護育成チーム**

制作 北條昭吾

プロジェクト事務局から一言

浅川まちづくり計画に位置している「ゴマシジミの保護・育成」とおして、里山の整備、自然環境の保全の大切さを学び、浅川の特徴である中山間地と平野部の融合を徐々に深め、また子ども達からお年寄りまでの交流を図りながら、次世代への財産として繋がればと考えています。

今後も生息環境の観察とゴマシジミの生態系の研究にいつそう取り組み、地元の資産として多くの人達から感心を持ってもらうよう、継続性のある活動を目指したいと思っています。



事務局 下村 守昭